



豊かな明日へ あなたとともに歩みます

経営会議資料  
令和3年5月6日

# 令和2年度 伊丹市社会福祉事業団 決算の概要について

社会福祉法人 伊丹市社会福祉事業団

# 令和2年度 伊丹市社会福祉事業団 決算の概要について

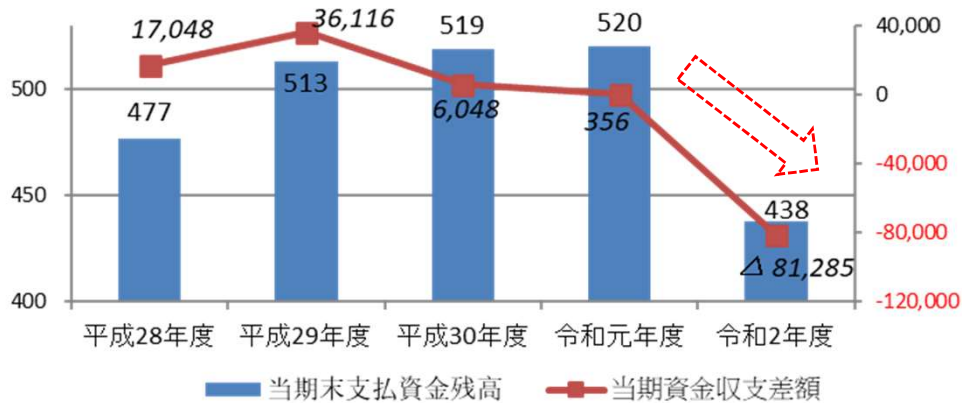
## 【決算のポイント】

- ①当期資金収支差額は大幅に赤字 △81,285千円
- ②収入の根幹をなす介護保険事業収入(予防含む)は5年連続の減収となり、非常に厳しい状況 1,141,296千円(▲310,761千円)
- ③人件費は、賞与の見直し(支給月数3.0ヵ月⇒2.0ヵ月)により、前年度に比べ減少 1,049,960千円(▲150,668千円)
- ④事業活動収入に占める人件費の割合(人件費比率)は、介護保険事業収入の減少により昨年度に比べ増 74.9%(+5.4ポイント)

### 【①当期資金収支差額及び当期末支払い資金残高の推移】

(単位:百万円)

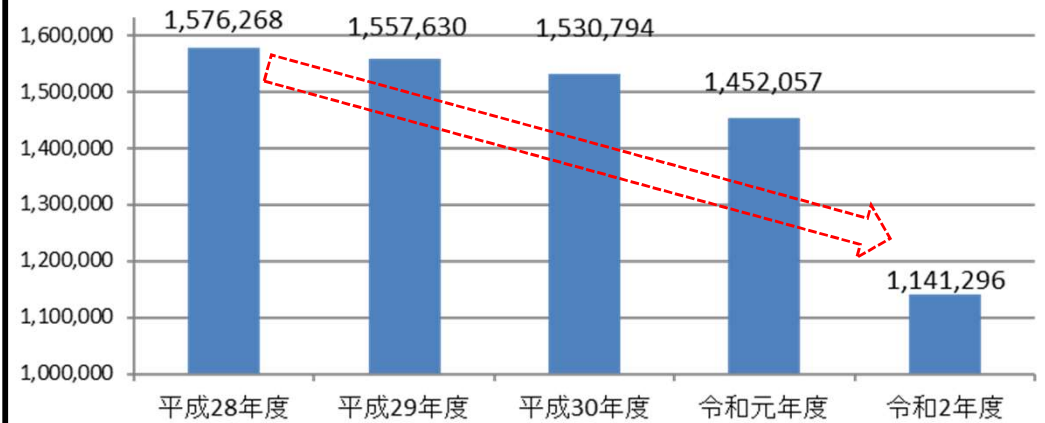
(単位:千円)



○当期資金収支差額が赤字となり、前年度末に比べて大幅に減少

### 【②介護保険事業収入の推移】

(単位:千円)



○介護保険事業収入(介護予防事業収入を含む)は5年連続で減収

### 【④人件費比率(※)の推移】

※人件費支出÷事業活動収入

(単位:%)

年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
人件費比率	68.4(66.0)	72.0(66.8)	74.5(67.1)	69.5(66.5)	74.9(未公表)

### ○人件費比率について

人件費比率については、介護保険事業収入の減少等により増加してきていたが、令和元年度決算において対前年度比で一旦は減少に転じ、令和2年度決算においては、賞与の支給月数を見直したものの、介護保険事業収入の減少により74.9%と再び高い水準となった。

介護人材不足や中長期経営計画に基づく事業転換の過渡期にあること等から、非常に厳しい収支状況である。令和4年度以降の収支の安定化を目指すとともに、現有施設における収入確保の最大化が急務である。